

款 3 民生費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
27,486,106,000 円	26,800,315,818 円	97.5%	393,380,000 円	292,410,182 円

項 1 社会福祉費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
8,158,874,000 円	7,795,148,809 円	95.5%	180,600,000 円	183,125,191 円

目 1 社会福祉総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
4,826,307,000 円	4,606,340,063 円	95.4%	120,000,000 円	99,966,937 円

(福祉総務課)

〔一般職給〕 53 人 444,557,879 円

国庫支出金	49,802,217 円
県支出金	513,905 円
(福祉部 43 人、健康部 10 人)	

〔嘱託職給〕 1 人 4,096,531 円

国庫支出金	2,051,000 円
県支出金	1,025,500 円

(福祉総務課)

目的	各種医療費の給付助成				
指標	受給者証交付人数等	目標	30,750 人	実績	32,921 人 (19 年度 31,666 人)
説明	各種医療費助成により経済的支援を行いました。乳幼児医療費助成は、受給資格者数が 600 人増加となりました。障害者医療費助成については精神障害 1 級の通院分を対象として拡大したことから、受給資格者数は 293 人増加しました。一人親家庭等医療費助成についても、受給資格者数は 396 人増加しました。不妊治療費助成は、延べ 314 人に対して助成を行いました。今後も、これらの医療費の助成については、広報などで制度のさらなる周知に努めます。				

(受給資格者数等は年度末)

〔乳幼児医療費助成事業〕 391,898,381 円 (県支出金 157,435,334 円)
 受給資格者数 18,535 人

〔障害者医療費助成事業〕 660,244,151 円 (県支出金 323,008,824 円)
 受給資格者数 7,762 人

〔一人親家庭等医療費助成事業〕 114,818,776 円 (県支出金 57,322,178 円)
 受給資格者数 6,310 人

〔福祉医療証明書料経費〕 67,142,800 円 (県支出金 27,131,664 円)

〔不妊治療費助成事業〕 23,183,500 円
 受給者数 延べ 314 人

目的	市社会福祉協議会活動支援				
指標	ボランティアコーディネーター人数	目標	240 人	実績	242 人 (19 年度 277 人)
説明	地域福祉の推進を図るため、市社会福祉協議会、民生委員・児童委員等の団体の活動を支援し、地域住民や関係者の積極的な参加や相互協力のもとに、地域の福祉力を高めるための活動を行っています。各方面からのボランティアの要請に対し、ボランティアを紹介するなどの市社会福祉協議会によるボランティア活動を支援しました。				

また、平成 20 年度は「四日市市地域福祉計画(平成 16 年度～20 年度)」を見直すために、地域福祉の関係者にご意見をいただき、「第 2 次四日市市地域福祉計画(平成 21 年度～25 年度)」を策定しました。

一方、民生委員・児童委員活動について、民生委員児童委員協議会連合会を通じて支援しました。

今後も、各地域の福祉課題の解決を目指すため、ボランティア活動等が活発に展開されるよう市社会福祉協議会と連携を図りながら地域の福祉力の向上に努めます。

〔地域福祉計画推進事業費〕	580,500 円
〔社会福祉協議会運営費補助金〕	110,419,921 円
・社会福祉協議会運営費	94,201,301 円
・市民啓発事業費	1,518,000 円
・ふれあいのまちづくり事業費	9,270,620 円
・ボランティアのまちづくり事業費	1,982,000 円
・振興基金補填事業費	3,448,000 円(その他特財 2,879,000 円)
〔権利擁護事業費補助金〕	657,700 円
〔社会福祉事業振興基金交付金〕	1,872,000 円(その他特財 1,872,000 円)
〔民生委員児童委員協議会連合会補助金〕	26,230,520 円
活動者数	579 人
〔民生対策費補助金〕	
・四日市医師会	13,740,000 円
・四日市歯科医師会	4,349,000 円
・四日市薬剤師会	875,000 円

目的	シルバー人材センター活動支援				
指標	会員の就業率	目標	87%	実績	86.6% (19 年度 87.7%)
説明	<p>シルバー人材センターでは、企業訪問活動や一般家庭への宣伝普及に努め、会員の就業率の向上を図りましたが、年度後半からの厳しい雇用情勢を反映して、前年度比 1.1 ポイント減の 86.6%となりましたが、一方で事業の受託額は平成 19 年度 669 百万円から平成 20 年度 678 百万円と前年度比 1.3%増となりました。</p> <p>また、旧港保育園を活用した高齢者活用子育て支援事業は 4 年目となり、一般家庭での一時預かりなど幅広い利用があり、指定管理者としてスポーツ施設の管理運営とともに順調に実施されています。今後も、会員の就業機会の確保だけでなく、地域での清掃奉仕などに継続的に取り組み、市民に親しまれる事業を展開するセンターを通じ、高齢者の社会参加や生きがい対策を支援していきます。</p>				

〔シルバー人材センター運営費補助金〕	17,350,000 円
〔全国シルバー人材センター協会等負担金〕	100,000 円
〔保護司会補助金〕	1,590,000 円
活動者数	118 人
〔更生保護女性の会補助金〕	108,000 円
活動者数	1,644 人
〔遺族対策費補助金〕	1,561,000 円
会員数	2,000 人
〔三重県原爆被災者の会補助金〕	103,000 円
会員数	99 人

目的	各種手当等の支給(障害者等)				
指標	受給者数	目標	4,470 人	実績	4,266 人 (19 年度 4,439 人)
説明	<p>各種手当を支給することにより経済的な支援を行いました。今後も、障害者手帳の交付時や転入時に案内を行うなど、制度の周知を図り、適正な支給に努めます。</p>				

(受給者数は年度末)

〔特別障害者手当等の支給〕

- ・特別障害者手当等運営対策経費 238,860 円
- ・特別障害者手当等扶助費 116,204,800 円 (国庫支出金 86,274,810 円)

受給者数 475 人

〔重症心身障害者手当の支給〕

- ・重症心身障害者手当 92,086,000 円

受給者数 3,758 人

〔在日外国人福祉給付金の支給〕

- ・在日外国人福祉給付金 2,095,000 円

受給者数 33 人

その他経費

- 〔社会福祉一般事業費〕 30,002,260 円 (その他特財 356,080 円)
- 〔県土地開発公社所有地買戻し事業費〕 80,670,462 円 (債務負担行為限度額のうち 20 年度)
- 〔保健福祉総合システム運営費〕 24,726,945 円
- 〔社会福祉事業振興基金積立金〕 1,977,598 円 (その他特財 1,977,598 円)
- 民間社会福祉事業ら
(昭和 51 年 4 月設置 平成 20 年度末現在高 405,503,502 円)
- 〔一般経費〕 6,151,842 円 (その他特財 685,340 円)

(障害福祉課)**〔明許繰越〕**

- 〔民間社会福祉施設等整備助成事業費〕 13,957,000 円 (県支出金 7,978,000 円)
- ・障害者グループホーム等整備事業費補助金 (わかたけホーム)

(障害福祉課)

目的	雇用・就労の促進				
指標	市内の就労を支援する施設数	目標	21 施設	実績	21 施設 (19 年度 21 施設)
説明	<p>障害者の就労を促進し、職場への定着を支援する通勤寮や、特別支援学校卒業後の就労の場、日中活動の場である小規模作業所や通所授産施設等を確保するため、引き続き、社会福祉法人に対し建設費補助を行いました。また、心身障害者小規模作業所の改修に対して建設費補助を行いました。今後は障害者自立支援法に基づく施設への移行等、施設の整備に努めます。</p> <p>なお、平成 20 年度は、「第 2 次四日市市障害者計画 (平成 16 年度～平成 22 年度)」を一部見直すとともに、「後期四日市市障害福祉計画 (平成 21 年度～平成 23 年度)」を策定しました。</p>				

〔民間社会福祉施設等整備助成事業費〕

- ・心身障害者小規模作業所建設費補助金 6,633,000 円 (県支出金 3,316,000 円)

施設名	実施額	備考
来夢	6,633,000	

- ・知的障害者授産施設建設費補助金 2,055,710 円

施設名	実施額	備考
かすみヶ浦ブルーミングハウス	984,500	債務負担行為限度額のうち 20 年度分
わかたけ萩の里	1,071,210	〃

- ・知的障害者通勤寮建設費補助金 920,000 円

施設名	実施額	備考
通勤寮ブルーミング	920,000	債務負担行為限度額のうち 20 年度分

目的	社会参加の場の整備・充実				
指標	市内の生活介護サービス実施施設数	目標	30 施設	実績	34 施設 (19 年度 30 施設)
説明	<p>視覚障害者の活動拠点である視覚障害者福祉センターの運営費補助を行うとともに、重度障害者の日中活動の場、社会参加の場である通所更生施設やデイサービス施設の建設費補助を引き続き行い、施設の整備、充実に努めました。</p> <p>また、障害者自立支援法の基準該当生活介護サービスの事業所として、介護保険指定事業所の指定を進めました。</p>				

〔民間社会福祉施設等整備助成事業費〕

- ・知的障害者更生施設建設費補助金 975,947 円

施設名	実施額	備考
サクラノ園	975,947	債務負担行為限度額のうち 20 年度分

- ・知的障害者デイサービス施設建設費補助金 983,400 円

施設名	実施額	備考
清和デイサービスセンター	983,400	債務負担行為限度額のうち 20 年度分

〔社会福祉協議会運営費補助金〕

- ・視覚障害者福祉センター運営費 2,029,009 円

目的	自立生活の支援				
指標	グループホーム・ケアホーム利用者数	目標	109 人	実績	102 人 (19 年度 88 人)
説明	<p>「施設から地域へ」を実現するため、グループホーム・ケアホームは、障害者が地域で自立し安定した生活を営むことができる場です。今後も、事業所に働きかけ、グループホーム・ケアホームの整備に努めていきます。平成 20 年度に整備した清和苑については、実際の利用が平成 21 年 4 月以降になるため、利用者数が目標を下回りました。</p>				

〔民間社会福祉施設等整備助成事業費〕 15,000,000 円 (県支出金 7,500,000 円)

- ・障害者グループホーム等整備事業費補助金(清和ホーム)

目的	施設福祉サービスの充実				
指標	市内の入所施設数	目標	6 施設	実績	6 施設 (19 年度 6 施設)
説明	<p>知的障害者入所更生施設や身体障害者療護施設の建設費、老朽化施設の大規模改修費の補助を引き続き行い、生活の場の整備や施設の生活環境改善を支援しました。今後は施設の老朽化による改築等について支援します。</p>				

〔民間社会福祉施設等整備助成事業費〕

- ・身体障害者療護施設建設費補助金 1,421,684 円

施設名	実施額	備考
エビノ園(大規模改修)	1,421,684	債務負担行為限度額のうち 20 年度分

- ・知的障害者更生施設建設費補助金 5,136,947 円

施設名	実施額	備考
清和苑	2,750,000	債務負担行為限度額のうち 20 年度分
垂坂山ブルーミングハウス	2,386,947	〃

その他経費

〔システム開発費〕 2,632,350 円 (県支出金 2,632,000 円)

障害者自立支援法にかかるシステム改修費

〔各種障害者大会経費補助金〕 200,000 円

第 26 回全国失語症者のつどい三重大会(四日市市)

第 35 回三家連精神保健福祉大会(四日市市)

[一般経費]

4,909,195 円

(介護・高齢福祉課)

[明許繰越]

[民間社会福祉施設等整備助成事業費] 80,000,000 円 (国庫支出金 60,000,000 円)

・ サテライト型特別養護老人ホーム建設費補助金 40,000,000 円 (国庫支出金 40,000,000 円)

施設名	実施額	備考
小山田特別養護老人ホームサテライト四郷	40,000,000	平成 20 年度一括補助

・ ショートステイ施設建設費補助金 40,000,000 円 (国庫支出金 20,000,000 円)

施設名	実施額	備考
小山田特別養護老人ホームサテライト四郷	20,000,000	平成 20 年度一括補助
日永英水苑短期入所生活介護施設	20,000,000	"

(介護・高齢福祉課)

[民間社会福祉施設等整備助成事業費] 164,426,014 円 (国庫支出金 20,000,000 円)

・ 特別養護老人ホーム建設費補助金 31,001,998 円

施設名	実施額	備考
特別養護老人ホームヴィラ四日市	3,224,894	債務負担行為限度額のうち 20 年度分
特別養護老人ホーム陽光苑 (増築)	1,549,947	"
特別養護老人ホーム英水苑	4,145,157	"
特別養護老人ホームよっかいち諧朋苑	4,814,000	"
特別養護老人ホームヴィラ四日市 (増築)	1,768,000	"
小山田特別養護老人ホーム(大規模修繕)	971,000	"
特別養護老人ホーム南部陽光苑	5,293,000	"
介護総合センターかんだき	5,195,000	"
小山田特別養護老人ホーム(大部屋解消・ショート増築)	2,133,000	"
特別養護老人ホーム英水苑 (増築)	928,000	"
特別養護老人ホームうねめの里	980,000	"

・ 老人デイサービス施設建設費補助金 15,179,000 円

施設名	実施額	備考
四郷デイサービスセンター	1,091,000	債務負担行為限度額のうち 20 年度分
Y M C A デイサービスセンター	1,276,000	"
よっかいち諧朋苑デイサービスセンター	994,000	"
みなとデイサービスセンター	1,148,000	"
富田浜デイサービスセンター	969,000	"
ハピネスやさしとデイサービスセンター	941,000	"
川島デイサービスセンター	951,000	"
うねめの里デイサービスセンター	972,000	"
くぬぎの木デイサービスセンター	979,000	"
日永英水苑デイサービスセンター	988,000	"

かんざきデイサービスセンター	934,000	〃
富洲原デイサービスセンター	994,000	〃
聖十字保々デイサービスセンター	1,025,000	〃
しおはまデイサービスセンター	939,000	〃
天力須賀デイサービスセンター	978,000	〃

・老人保健施設建設費補助金 8,106,848 円

施設名	実施額	備考
小山田老人保健施設	3,831,850	債務負担行為限度額のうち 20 年度分
老人保健施設みえ川村老健	1,919,736	〃
老人保健施設ちゅうぶ	1,315,789	〃
富田浜老人保健施設	1,039,473	〃

・軽費老人ホーム建設費補助金 9,549,683 円

施設名	実施額	備考
小山田ケアハウス	1,950,631	債務負担行為限度額のうち 20 年度分
ケアハウス常磐	3,564,052	〃
グリーンライフ英水苑	4,035,000	〃

・老人福祉施設建設費補助金 9,963,485 円

施設名	実施額	備考
老人福祉施設ユートピアハウス	9,963,485	債務負担行為限度額のうち 20 年度分

・ショートステイ施設建設費補助金 40,000,000 円 (国庫支出金 20,000,000 円)

施設名	実施額	備考
ハピネスやさと短期入所生活介護	20,000,000	平成 20 年度一括補助
天力須賀短期入所生活介護事業所	20,000,000	〃

・養護老人ホーム改築費補助金 50,625,000 円

施設名	実施額	備考
養護老人ホーム寿楽陽光苑	50,625,000	平成 20 年度一括補助

その他経費

・一般経費 3,498,767 円

(児童福祉課)

〔社会福祉振興費〕	4,030,750 円	
・母子福祉協力員活動助成費	192,000 円	
・母子家庭自立支援給付金事業	3,838,750 円	(国庫支出金 3,358,000 円)
〔一般経費〕	1,405,602 円	
・一般経費(児童福祉課)		
〔社会福祉事業振興基金積立金〕	161,697 円	(その他特財 161,697 円)
・障害児福祉事業		
(平成 6 年 10 月設置 平成 20 年度末現在高	13,991,095 円)	

(保護課)

〔法外扶助費〕	4,139 件	24,029,779 円	
・夏季見舞金	1,852 件	17,288,000 円	
・歳末見舞金	1,888 件	4,626,500 円	
・小中高校入学支度金	77 件	1,406,000 円	
・就職支度金	10 件	184,755 円	
・中1夏服購入費	33 件	337,000 円	
・行旅人措置費用	279 件	187,524 円	
〔国民生活基礎調査等事業費〕		82,786 円	(県支出金 82,786 円)

(保険年金課)

〔後期高齢者医療特別会計繰出金〕	2,032,218,000 円	(県支出金 223,690,154 円)
------------------	-----------------	----------------------

目2 障害者自立支援費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,511,074,000 円	2,463,092,704 円	98.1%	0 円	47,981,296 円

(障害福祉課)

目的	雇用・就労の促進				
指標	市内の就労を支援する施設数	目標	21 施設	実績	21 施設 (19 年度 21 施設)
説明	身体障害者通所授産施設あさけワークスでは、授産活動を通じて社会生活能力を高め、自立や社会参加の促進を図るとともに、重度重複障害者を受入れるなど、ニーズに応える施設運営を行いました。 知的障害者通所授産施設共栄作業所では、日中活動や就労の場の確保に努めました。 また、障害者自立支援法に基づく就労移行支援事業、就労継続支援事業において、就労に必要な訓練や就労の機会の提供を行いました。				

〔あさけワークス管理運営費〕	46,346,000 円	(国庫支出金 12,267,280 円 県支出金 9,137,640 円 その他特財 626,368 円施)
市社会福祉協議会へ指定管理者委託 定員 20 人、通所者数 15 人	43,784,000 円	
設修繕(空調設備等)	2,562,000 円	
〔共栄作業所管理運営費〕	61,205,500 円	(国庫支出金 26,654,256 円 県支出金 17,443,127 円 その他特財 1,006,522 円)
市社会福祉協議会へ指定管理者委託 定員 37 人、通所者数 31 人	60,187,000 円	
施設修繕(換気設備等)	1,018,500 円	
〔就労移行支援事業費〕	59,340,986 円	(国庫支出金 29,670,493 円 県支出金 14,835,246 円)
就労移行事業所 5 ヲ所、利用者数 36 人		
〔就労継続支援事業費〕	71,047,570 円	(国庫支出金 35,488,405 円 県支出金 17,797,203 円)
就労継続事業所 7 ヲ所、利用者数 96 人		
〔職親委託事業費〕	720,000 円	(国庫支出金 360,000 円 県支出金 180,000 円)
事業所 2 ヲ所、利用者数 2 人		

目的	社会参加活動の促進支援				
指標	手話通訳者派遣人数	目標	750人	実績	716人 (19年度714人)
説明	障害者が円滑に外出することができるよう障害者の移動を支援する事業として、移動支援事業や視覚障害者を支援するガイドヘルパー派遣事業、重度身体障害者の移動手段を確保するリフト付タクシー運行事業、コミュニケーション手段を確保する手話通訳者派遣事業及び要約筆記奉仕員派遣事業を実施し、障害者の社会参加活動の促進を図りました。				
	〔移動支援事業費〕	24,727,324円		〔国庫支出金	12,162,500円
	・移動支援事業			県支出金	6,081,250円
	利用者数 114人、延べ利用時間5,185時間	13,107,794円		その他特財	397,045円
	・ガイドヘルパー派遣事業				
	対象者数 56人、延べ派遣時間 3,472時間	4,119,530円			
	・リフト付タクシー運行事業補助金	7,500,000円			
	延べ利用者数 4,798人、延べ運行回数 2,402回				
	〔手話通訳者派遣事業費〕	5,561,291円		〔国庫支出金	2,320,500円
	依頼件数 477件 延べ派遣人数 716人			県支出金	1,160,250円
				その他特財	1,117,239円
	〔要約筆記奉仕員派遣事業費〕	1,143,470円		〔国庫支出金	628,000円
	依頼件数 104件 延べ派遣人数 245人			県支出金	314,000円
	〔自動車改造給付費〕	963,700円		〔国庫支出金	481,850円
	1件当たり100,000円限度 14件分			県支出金	240,925円
	〔自動車運転免許取得費給付費〕	300,000円		〔国庫支出金	150,000円
	1件当たり100,000円限度 3件分			県支出金	75,000円

目的	社会参加の場の整備・充実				
指標	市内の生活介護サービス実施施設数	目標	30施設	実績	34施設 (19年度30施設)
説明	たんぼぼは、障害者自立支援法に基づく生活介護を行う事業所として、通所者が自立した生活及び社会生活を営むことができるようサービス提供を行いました。障害者福祉センターにおいては、機能訓練、創作的活動、社会適応訓練及び広報、啓発等の事業を実施しました。また、障害者の日中活動の場として、生活介護事業所においては、入浴、排せつ、食事の介護、創作的活動や生産活動の機会の提供を行うとともに、障害者が身近な施設でサービスが受けられるよう、介護保険指定事業所を障害者自立支援法の基準該当生活介護サービスの事業所として指定を行うなど、障害者の社会参加の場の整備充実に努めました。				
	〔たんぼぼ管理運営費〕	96,448,000円		〔国庫支出金	46,242,655円
	市社会福祉協議会へ指定管理者委託			県支出金	25,432,530円
	定員 35人、通所者数 33人			その他特財	973,026円
	〔障害者福祉センター管理運営費〕	36,033,000円		〔国庫支出金	8,956,000円
	市社会福祉協議会へ指定管理者委託			県支出金	4,478,000円
	デイサービス延べ利用回数 1,700回			その他特財	395,050円
	〔生活介護事業費〕	366,937,939円		〔国庫支出金	134,011,214円
	生活介護事業所6カ所・利用者数198人			県支出金	67,270,117円
	基準該当生活介護事業所28カ所、利用者数32人			その他特財	92,482,710円
	指定生活介護事業所入浴事業所3カ所、延べ利用回数2,939回				

〔児童デイサービス事業費〕	3,684,002 円			
児童デイサービス事業所 1 ヲ所、利用者数 2 人			〔国庫支出金	609,690 円
基準該当児童デイサービス事業所 17 ヲ所、利用者数 40 人			〔県支出金	304,845 円
〔身体障害者スポーツ振興事業費補助金〕	80,000 円		〔国庫支出金	40,000 円
スポーツ・レクリエーション大会			〔県支出金	20,000 円

目的	在宅福祉サービス等の充実				
指標	居宅介護等の給付支給人数	目標	230 人	実績	231 人 (19 年度 225 人)
説明	在宅で生活する障害者等を支援するため、ホームヘルパー等が訪問して行われる居宅介護、日中一時支援事業、一時的に施設に入所する短期入所事業など福祉サービスの利用促進を行いました。また、補装具や日常生活用具の給付等各種施策を実施するとともに、情報提供や福祉サービスの利用援助を行う相談支援事業を実施し、地域における自立生活を支援しました。				

〔居宅介護等事業費〕	165,422,918 円	〔国庫支出金	81,675,458 円
延べ派遣時間数 54,699 時間、利用者数 231 人		〔県支出金	40,837,729 円
〔短期入所事業費〕	34,497,703 円	〔国庫支出金	17,248,852 円
延べ利用日数 3,777 日、利用者数 140 人		〔県支出金	8,624,426 円
〔相談支援事業費〕	36,336,726 円	〔国庫支出金	9,084,000 円
相談件数 延べ 12,335 件		〔県支出金	4,542,000 円
〔日中一時支援事業費〕	15,634,212 円	〔県支出金	1,971,288 円
利用者数 163 人、延べ利用者数 1,028 人			
〔訪問入浴サービス事業費〕	9,610,200 円	〔国庫支出金	4,805,000 円
利用者数 16 人、延べ利用回数 814 回		〔県支出金	2,402,500 円
〔補装具費〕	54,243,637 円	〔国庫支出金	26,827,338 円
交付・修理件数 534 件		〔県支出金	13,413,669 円
車いす、補聴器、義肢、装具等			
〔日常生活用具等給付事業〕	42,989,248 円	〔国庫支出金	21,494,500 円
給付件数 2,208 件		〔県支出金	10,747,250 円
ストマ装具、紙オムツ、特殊寝台、電気式たん吸引器等			
〔点字・声の広報発行事業〕	1,046,000 円	〔国庫支出金	523,000 円
点字版、録音版 月 2 回発行		〔県支出金	261,500 円

目的	自立生活の支援				
指標	グループホーム・ケアホーム利用者数	目標	109 人	実績	102 人 (19 年度 88 人)
説明	「施設から地域へ」を実現するため、グループホーム・ケアホームは、障害者が地域で自立し安定した生活を営むことができる場です。今後も、事業所に働きかけ、グループホーム・ケアホームの整備に努めていきます。平成 20 年度に整備した清和苑については、実際の利用が平成 21 年 4 月以降になるため、利用者数が目標を下回りました。				

〔共同生活介護事業費〕	87,697,978 円	〔国庫支出金	41,033,170 円
ケアホーム 22 事業所 利用者数 91 人		〔県支出金	26,129,585 円
〔共同生活援助事業費〕	2,137,373 円	〔国庫支出金	1,068,686 円
グループホーム 5 事業所 利用者数 11 人		〔県支出金	534,343 円

目的	保健・医療の充実				
指標	自立支援医療（更生医療）利用者数	目標	150人	実績	154人 (19年度162人)
説明	障害を軽減するための入院・通院治療にかかる医療費給付を行ったほか、障害者に必要な機能訓練、生活訓練指導を行いました。自立支援医療（更生医療）については、医療保険の限度額適用認定制度導入に伴い、利用者が医療機関窓口で支払う自己負担額が軽減されたため、利用者数は前年度に比べて減少しました。				

〔自立支援医療費〕	229,176,617円	（国庫支出金 113,721,038円 県支出金 56,860,519円）
利用者数 154人（心臓19人、腎臓108人、その他27人）		
〔自立訓練事業費〕	22,813,788円	（国庫支出金 11,336,314円 県支出金 5,668,157円）
機能訓練、生活訓練 利用者数23人		

目的	施設福祉サービスの充実				
指標	市内の入所施設数	目標	6施設	実績	6施設 (19年度6施設)
説明	「施設から地域へ」の流れの中にあっても、障害や介護の状況等によっては入所施設が必要です。障害者自立支援法では、入所施設や病院で24時間暮らす従来のサービス提供のあり方の見直しがなされ、日中活動の場と住まいの場が区分され、施設の体系が変わりつつあります。施設入所支援では、夜間における住まいの場を、療養介護では病院等における療養上の管理、看護、介護等の場を提供し支援に努めました。				

〔施設入所支援事業費〕	35,048,469円	（国庫支出金 17,524,234円 県支出金 8,762,117円）
〔旧法施設支援事業費〕	880,801,497円	（国庫支出金 393,126,722円 県支出金 198,729,861円 その他特財 86,206,234円）
〔特定障害者特別給付費・特例特定障害者特別給付費〕	40,663,091円	（国庫支出金 20,331,546円 県支出金 10,165,773円）

施設の利用状況

入所施設

施設名	施設区分	19年度末 入所者数 (人)	20年度末 入所者数 (人)	給付費 (円)
三重県身体障害者総合福祉センター	施設入所支援	3	1	3,042,221
三雲カトリックの家	施設入所支援	6	6	7,852,451
れんげの里	施設入所支援	3	3	4,985,526
城山れんげの里	施設入所支援	2	2	2,814,077
まもり苑	施設入所支援	2	3	2,227,876
彦根学園	施設入所支援	2	1	1,413,242
向陽園	施設入所支援	0	1	2,291,931
八野ワークセンター	施設入所支援	0	3	1,714,564
三重県いなば園すぎのき寮	施設入所支援	0	4	4,968,222
〃 かのき寮	施設入所支援	0	4	6,100,779
〃 もみのき寮	施設入所支援	0	2	2,989,583

小 計（施設入所支援）		18	30	40,400,472
小山田苑	旧法身体入所療護	23	22	87,826,015
エビノ園	旧法身体入所療護	29	25	105,874,629
菰野聖十字の家	旧法身体入所療護	10	10	45,484,108
ケアホーム熊南	旧法身体入所療護	1	1	4,040,314
春日苑	旧法身体入所療護	1	1	4,413,912
八野ワーク入所	旧法身体入所授産 （施設入所、生活介護、 就労移行へ移行）	3	0	2,482,064
東京都清瀬園	旧法身体入所更生	1	1	1,720,205
和順寮	旧法知的入所更生	11	11	32,650,581
名張育成園成峯寮	旧法知的入所更生	9	6	17,272,512
名張育成園成美寮	旧法知的入所更生	1	2	4,531,593
津長谷山学園	旧法知的入所更生	4	3	9,263,298
和順学園	旧法知的入所更生	5	6	16,368,195
あさけ学園	旧法知的入所更生	12	11	35,097,757
済美寮	旧法知的入所更生	2	2	4,498,156
長谷山寮	旧法知的入所更生	9	9	23,870,039
聖母の家	旧法知的入所更生	26	26	67,744,044
しらさぎ園	旧法知的入所更生	4	3	9,279,525
名古屋市希望荘	旧法知的入所更生	1	0	2,280,310
向陽園	旧法知的入所更生 （施設入所、生活介護 へ移行）	1	0	223,400
垂坂山ブルーミングハウス	旧法知的入所更生	16	16	44,556,259
緑の丘	旧法知的入所更生	4	3	8,806,191
くわのみ	旧法知的入所更生	4	4	12,527,689
清和苑	旧法知的入所更生	22	22	64,039,914
風の丘	旧法知的入所更生	1	1	3,217,105
ルーベンハイム志摩	旧法知的入所更生	1	1	2,946,812
いつきの里	旧法知的入所更生	1	1	2,973,498
桃朋園	旧法知的入所更生	4	4	12,456,911
奈良県立大淀授産所	旧法知的入所授産	1	1	3,414,779
通勤寮ブルーミング	旧法通勤寮	8	9	9,011,517
通勤寮のぞみ荘	旧法通勤寮	2	1	1,399,676
小 計（旧法施設）		217	202	640,271,008
合 計（入所施設）		235	232	680,671,480

通所施設

施設名	施設区分	19年度末 入所者数 （人）	20年度末 入所者数 （人）	給 付 費 （円）
エビノ園通所	旧法身体通所療護	3	5	5,028,888
八野ワーク通所	旧法身体通所授産 （施設入所、生活介護、 就労継続へ移行）	0	0	215,720
第2八野ワーク通所	旧法身体通所授産 （生活介護へ移行）	4	0	1,359,197

あさけワークス	旧法身体通所授産	15	15	27,408,971
名張育成園ういず	旧法知的通所更生	1	1	1,738,258
清和ワークキャンパス	旧法知的通所授産	21	22	39,260,763
バンブーハウス	旧法知的通所授産 (生活介護、就労継続 へ移行)	7	0	906,078
かすみヶ浦ブルミグハウス	旧法知的通所授産 (生活訓練、就労移行 へ移行)	24	0	2,852,872
わかたけ萩の里	旧法知的通所授産	26	29	51,083,687
ワークセンターひのき	旧法知的通所授産 (生活介護、就労継続に 移行)	9	0	10,719,703
グリーンランド	旧法知的通所授産	12	13	22,227,176
すずかぜ	旧法知的通所授産	10	10	17,076,465
愛光園ひかりのさとファーム	旧法知的通所授産 (就労移行へ移行)	1	0	150,990
らぶかっと	旧法知的通所授産	9	10	19,948,586
共栄作業所	旧法知的通所授産	32	33	58,802,463
たんぽぽ作業所	旧法知的通所授産	0	1	719,160
フェア・ワークス下野	旧法相互利用	8	7	16,342,600
合 計 (通所施設)		182	146	275,841,577

〔療養介護事業費〕	10,932,863 円	(国庫支出金 5,466,432 円 県支出金 2,733,216 円)
〔療養介護医療費・基準該当療養介護医療費〕 国立病院機構鈴鹿病院 利用者数 4人	2,376,113 円	(国庫支出金 1,186,992 円 県支出金 593,496 円)

その他経費

〔障害者介護給付審査会費〕	2,702,950 円	(国庫支出金 1,280,000 円)
〔給付費支払事務委託料〕	2,589,719 円	
〔高額障害福祉サービス費〕 利用者数 5人、延べ件数 23件	310,147 円	(国庫支出金 155,074 円 県支出金 77,537 円)
〔高額地域生活支援事業利用者負担扶助費〕	55,908 円	
〔一般経費〕	444,181 円	

(児童福祉課)

〔介護給付費〕	11,022,584 円	
・児童デイサービス事業費 (あけぼの学園利用)	11,022,584 円 (その他特財 10,844,006 円)	

目 3 障害福祉費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
339,712,000 円	249,479,093 円	73.4%	60,600,000 円	29,632,907 円

目的	社会参加活動の促進支援				
指標	タクシー料金助成券利用枚数	目標	101,000 枚	実績	87,324 枚 (19 年度 88,263 枚)
説明	重度障害者の社会参加を支援するため、タクシー料金や自動車燃料費の助成を行いました。交付者数・一人あたりの利用枚数が減少したことにより、総利用枚数が減少しました。今後も制度の周知に努めます。				

〔タクシー料金助成事業扶助費〕	54,782,860 円	〔国庫支出金 15,319,500 円 県支出金 7,659,750 円〕
初乗り運賃相当額の乗車券を 1 人につき年 72 枚交付 利用枚数 87,324 枚		
〔自動車燃料費用助成事業扶助費〕	17,760,668 円	〔国庫支出金 4,959,150 円 県支出金 2,479,575 円〕
助成件数 延べ 7,817 件		

〔福祉環境整備事業費〕	4,274,080 円	〔 県支出金 723,000 円 〕
駅舎改修（三岐鉄道富田駅） 多目的トイレ設置（総合会館・健康増進センター） 点字ブロック設置（近鉄四日市駅西口周辺、高花平）		

目的	社会参加の場の整備の充実				
指標	障害者体育施設利用者数	目標	4,000 人	実績	4,880 人 (19 年度 3,900 人)
説明	障害者がスポーツを通じて身体機能の維持・健康の増進を図るとともに、相互の交流と理解を深めるための活動の場として障害者体育センターの管理運営を行いました。障害当事者が組織する特定非営利活動法人に業務を委託し、適正な管理運営を行い、大幅な利用者数の増加につながりました。				

〔障害者体育センター管理運営費〕	4,193,907 円	〔その他特財 43,659 円〕
特定非営利活動法人「障害者福祉チャレンジド・ネット」へ指定管理者委託 開館日数 295 日、延べ利用者数 4,880 人		

目的	雇用・就労の促進				
指標	市内の就労を支援する施設数	目標	21 施設	実績	21 施設 (19 年度 21 施設)
説明	心身障害者小規模作業所等への運営費にかかる補助を行い、日中活動や就労の場の確保に努めました。平成 20 年度中に、小規模作業所等のうち 3 施設が障害者自立支援法に基づく新体系の事業所に移行し、経営基盤の安定化に向けた取り組みがなされました。また、通所にかかる経費助成を行い、施設利用を促進しました。				

〔心身障害者小規模作業所運営費補助金〕	76,080,000 円	〔国庫支出金 13,430,500 円 県支出金 30,591,250 円 その他特財 2,139,000 円〕
---------------------	--------------	--

施設名	実施額 (円)	延べ通所者数(人)	月平均利用者数(人)
みはま作業所	8,687,000	127	10
オンリーワン	12,828,000	215	18
生活倶楽部きりん	5,392,000	55	4
尾上授産所 (H20.10 就労継続に移行)	5,861,000	112	19
日永福祉作業所	8,911,000	119	15
メダカ出版所	7,192,000	84	7
来夢	8,943,000	84	7
あい ぱれっと	4,817,000	41	5
わかば共同作業所	11,455,000	264	20

ゆったりクラブ (H20.5 生活介護に移行)	677,000	10	10
菰野フェアークス(菰野町)	76,000	1	1
四季の会(鈴鹿市)	274,000	11	1
すずわの家(＼)	59,000	3	1
ひまわり作業所(朝日町)	366,000	12	1
ワークスクラム(桑名市)	260,000	12	1
ワークルーム桑友(＼)	282,000	12	1
計	76,080,000	1,162	-

〔小規模作業所等通所費助成事業費〕 48,326,332 円 (県支出金 16,051,000 円)
 通所費(公共交通機関等)利用者数 254 人
 通所サービス利用促進助成(施設送迎バス)利用者数 219 人

〔通所利用支援費〕 7,511,558 円 (県支出金 3,755,000 円)
 利用者数 408 人

〔福祉の店運営費補助金〕 4,239,910 円
 延べ開店日数 590 日、売上点数 13,472 点 売上金額 4,948,020 円

〔はり・きゅう・マッサージ給付事業費〕 10,222,700 円
 1 枚あたり 1,000 円補助、利用枚数 10,166 枚

目的	理解と交流の促進				
指標	参加者数 (障害者大会、ふれあい農園)	目標	1,100 人	実績	805 人 (19 年度 1,080 人)
説明	障害者団体による実行委員会や運営委員会で協議を重ね、障害に対する正しい理解と認識を深めるための交流・啓発活動を行いました。 ふれあい農園の収穫祭については、年 2 回実施予定のところ、悪天候により 1 回のみになったため、参加者数が目標を下回りました。また、この収穫祭は、障害者団体等の取組みとして定着しており、今後も障害者団体間の連携を強め協働で事業を推進していきます。				

〔ふれあい農園運営費〕
 収穫祭 参加 205 人 1,324,636 円

〔障害者福祉推進事業費〕 430,000 円
 障害者大会事業費補助 参加 600 人

(児童福祉課)

〔障害福祉事業費〕 209,060 円
 ・通所利用支援事業費
 (あけぼの学園利用) 209,060 円

その他経費

〔障害者共同生活介護等支援事業費〕 4,633,215 円 (県支出金 2,316,000 円)
 家賃補助利用者数 53 人
 〔生活ホーム運営委託費〕 3,891,999 円 (県支出金 1,272,000 円)
 富田ハウス利用者数 4 人
 〔在宅重度身体障害者住宅改造費補助金〕 4,106,000 円 (県支出金 798,000 円)
 補助件数 11 件

〔訪問給食サービス事業費〕	593,190 円	〔国庫支出金 296,500 円 県支出金 148,250 円〕
利用者数 19 人、延べ 6,591 食		
〔福祉電話貸与事業費〕 17 台	407,168 円	
〔緊急通報装置貸与事業費〕 5 台	69,097 円	
〔小児慢性特定疾患児 日常生活用具給付費〕 1 件	17,150 円	(国庫支出金 8,000 円)
〔福祉住宅相談室経費〕	231,160 円	
〔障害者ホームヘルパー等養成事業費〕	542,850 円	
〔障害者福祉施設整備事業費〕	2,190,150 円	
〔一般経費〕	3,441,403 円	

目 4 老人福祉費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
415,331,000 円	410,383,834 円	98.8%	0 円	4,947,166 円

目的	高齢者が自立した生活を送れるように支援する				
指標	在宅介護支援センター相談件数	目標	30,000 件	実績	31,538 件 (19 年度 29,684 件)
説明	ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増加する中、介護を要する状態になっても住み慣れた地域で生活を継続できるよう、相談窓口として 25 ヲ所の在宅介護支援センターを整備し、高齢者福祉の拠点として事業を展開しています。また、高齢者の総合的支援のための中核機関である地域包括支援センター 3 ヲ所とそのランチとしての機能を有する在宅介護支援センターとが互いに連携し、増加する認知症や虐待などの事例に対応するとともに、相談・調整機能の強化を図りました。				

〔老人福祉一般事業費〕	75,000 円	
・老人ホーム入所判定委員会経費 8 回開催	75,000 円	
〔寝たきり等老人対策事業費〕	112,449,198 円	
・日常生活用具給付等事業費 58 件	145,200 円	
・高齢者住宅改造費補助金 23 件	3,879,400 円	(県支出金 1,215,000 円)
・在宅介護支援センター事業費 25 ヲ所	108,174,000 円	
・低所得者利用者負担対策事業費 31 人認定	250,598 円	(県支出金 187,000 円)
〔老人福祉施設事務費事業費〕	237,826,629 円	(その他特財 53,604,419 円)

養護老人ホームへの措置状況

施設名	前年度末入所者数 (人)	入所措置 (人)	退所措置 (人)	本年度末入所者数 (人)	措置費 (円)
寿楽陽光苑	89	30	12	107	166,682,588
みずほ寮	5	0	0	5	8,739,649
翠明院	16	2	0	18	36,886,130
高田慈光院	3	0	1	2	3,905,750
梨の木園	4	1	1	4	9,820,609
桑名市清風園	3	1	1	3	6,623,171
計	120	34	15	139	232,657,897

〔社会福祉法人等施設利用者負担額等減免補助金〕	
・ 31 人認定	42,000 円 (県支出金 30,000 円)
〔高齢者虐待防止事業費〕	483,077 円

目的	社会参加活動の支援				
指標	老人クラブ社会参加活動実施回数	目標	1,000回	実績	921回 (19年度951回)
説明	地域社会において高齢者の健康増進、相互扶助や社会貢献などの取り組みを行う老人クラブに対して事業費の補助を行いました。また、市老人クラブ連合会が行う事業を支援し、環境整備や施設訪問をはじめとするボランティア活動、子どもへの交通安全指導、その他軽スポーツを通じた世代間交流など様々な地域活動が促進されました。				

〔老人福祉一般事業費〕	34,685,854円
・敬老行事費（地区敬老行事）	31,229,248円
・敬老訪問事業費（最高齢者・100歳） 34人	156,606円
・敬老金の支給（100歳） 33人	3,300,000円
〔いきがい対策事業費〕	24,054,245円
・老人クラブ運営費補助金（242クラブ21,036人）	15,120,680円（県支出金7,550,000円）
・老人憩いの広場整備費補助金	942,300円
・ふれあいいきいきサロン推進事業費	7,991,265円

その他経費

・一般経費	767,831円
-------	----------

目5 国民年金費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
8,287,000円	7,690,225円	92.8%	0円	596,775円

第1号被保険者にかかる各種届出の受理等を法定受託事務として実施しました。また、国との協力・連携事務の一環として年金制度の啓発活動を実施しました。

〔国民年金事務費〕	7,675,225円	（国庫支出金 7,675,225円）
〔負担金〕	15,000円	（国庫支出金 15,000円）
資格関係届出書受付	8,619件	
免除申請受付	6,180件	
年金裁定請求等の受付	2,486件	

国民年金の加入状況（本市で事務を行わない第2号被保険者を除く。）

区分	第1号被保険者	第3号被保険者	任意加入被保険者	合計
年度末現在の被保険者数(人)	41,623	30,046	717	72,386

「第1号被保険者」とは、日本国内に住所のある20歳以上60歳未満で第2号又は第3号被保険者以外の人

「第2号被保険者」とは、厚生年金保険又は共済組合等の加入者

「第3号被保険者」とは、第2号被保険者の被扶養配偶者で20歳以上60歳未満の人

「任意加入被保険者」とは、国民年金の適用除外者のうち、本人の希望により加入した人

目6 老人福祉センター費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
58,163,000円	58,162,890円	100.0%	0円	110円

目的	介護予防活動の支援				
指標	老人福祉センター利用者数	目標	100,000人	実績	94,732人 (19年度83,313人)

説明	高齢者の健康で生きがいのある生活を支援するため、2カ所の老人福祉センターで、健康相談や入浴、趣味の講座やイベントなどの事業を実施しました。施設の管理・運営は、指定管理者（中央老人福祉センター：市社会福祉協議会、西老人福祉センター：社会福祉法人風薫会）に委託しており、それぞれ、利用者サービスの向上に努めました。
----	---

〔老人福祉センター管理運営費〕 58,162,890 円

老人福祉センターの利用状況

施設名	開館日数(日)	利用者数(人)	1日平均利用者数(人)
中央老人福祉センター	298	46,016	154
西老人福祉センター	298	48,716	163
計		94,732	

項2 児童福祉費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
9,728,191,000 円	9,434,617,405 円	97.0%	212,780,000 円	80,793,595 円

目1 児童福祉総務費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
6,852,070,000 円	6,601,765,897 円	96.3%	212,780,000 円	37,524,103 円

〔一般職給〕 304人 2,292,858,878 円
〔再任用職給〕 4人 14,198,432 円
〔嘱託職給〕 30人 112,407,614 円

(国庫支出金 24,010,232 円
県支出金 29,768,000 円
その他特財 477,205,823 円)

(児童福祉課)

目的	子育て家庭への支援サービスの提供				
指標	あそぼう会参加者数	目標	延べ80,000人	実績	延べ75,935人 (19年度 74,130人)
説明	<p>育児の不安やストレスを抱える家庭が増加する中、単独型、保育園や医療機関併設型と合わせ計12カ所の子育て支援センターで、楽しんで子育てできるように相談や情報提供、遊びの場や保護者同士の交流の場の提供を行いました。</p> <p>関係機関や地域が未就園児童等の情報を共有し、支援を必要とする家庭に早期に育児支援を行うため、地域で開催する「地域子育てネット0～6」会議と連携して、地域の子どもの「見守り」に努めました。</p> <p>子どもの虐待の早期発見、早期対応、未然防止に向けて保健、医療、福祉、教育、警察、地域等、関係機関と「四日市市子どもの虐待防止ネットワーク会議」を開催するとともに、市民との協働で行う子育て応援セミナーの開催など、虐待防止事業を実施しました。今後も、地域や子育てを支援する団体、関係者との連携を図りながら、子育て家庭に対する支援を進めます。</p> <p>公立保育園の民営化については、社会福祉法人へ移管後の円滑な運営を図ることを目的とし、河原田、水沢、西浦、高花平、三重保育園の5園について、移管後3カ年で、移管先法人が行う施設整備及び高花平保育園の一時保育等のための園舎整備に対して助成を行いました。今後も移管先法人と協議を進め、移管後の保育を支援します。</p>				

〔子育て支援センター管理運営費〕 4,992,902 円

・子育て支援センター管理運営費	3,349,452 円	(県支出金	900,000 円)
・子育て支援センター事業費	1,643,450 円	(県支出金	284,000 円)
〔 児童福祉一般事業費 〕	558,624,549 円		
・臨時職員賃金	549,407,821 円	(国庫支出金	2,840,000 円
		県支出金	6,457,000 円
		その他特財	2,350,575 円)
・家庭児童相談経費	255,358 円		
・児童虐待防止対策事業費	1,070,978 円		
・一般経費	7,890,392 円	(その他特財	349,911 円)
〔 次世代育成支援行動計画推進事業費 〕	1,679,088 円		
〔 保育所民営化推進事業費 〕	75,000,000 円	(国庫支出金	2,800,000 円)

目的	市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供				
指標	病児保育室利用者数	目標	3.6 人 / 日	実績	3.3 人 / 日 (19 年度 3.6 人 / 日)
説明	病児回復期の児童をあずかることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援しました。利用実績が前年度を下回ったのは、インフルエンザの流行時期が例年より短かったためと考えます。平成 21 年 4 月から病児の回復期には至っていないが、当面症状の急変が認められない場合の児童も預かることになりました。(利用定員は、1 日につき 6 人)				

〔 病児保育室管理運営費 〕	14,576,022 円	(県支出金	5,653,000 円
医療法人里仁会へ指定管理者委託		その他特財	1,306,000 円)
年間実績			

開設日数	登録者数	延べ利用者数
263 日	1,638 人	860 人

目的	経済的安定と自立を図るための支援				
指標	母子支援相談件数	目標	延べ 1,500 件	実績	延べ 1,355 件 (19 年度 1,279 件)
説明	母子・寡婦家庭からの相談業務や技能習得講座の開催等を通じて生活の安定と自立を図りました。				

〔 母子福祉センター管理運営費 〕	4,300,000 円
市社会福祉協議会へ指定管理者委託	
年間実績	

技能習得講座延べ受講者数	201 人
サークル延べ活動者数	865 人

目的	障害児の療育等の充実				
指標	障害児・保護者訓練指導事業実施者数	目標	延べ 3,850 人	実績	延べ 3,524 人 (19 年度延べ 3,829 人)
説明	あけぼの学園と健康増進センターにおいて、発達の遅れのある児童とその保護者に対し、心理、言語、理学及び作業の訓練指導を行いました。 ボランティア団体が実施する障害児訓練事業に対して助成することにより、障害児の機能強化の推進を図りました。 おもちゃ図書館において、障害のある子どもがおもちゃを通して仲良く遊び、ふれあえるきっかけをつくとともに、子どもの情緒や生活機能の発達を促しました。				

〔 心身障害児訓練事業費 〕	919,395 円		
・障害児・保護者訓練指導事業	715,395 円	(その他特財	715,395 円)
・障害児機能強化事業費補助金	204,000 円		

障害児・保護者訓練指導事業実績（実登録者数 621人）（単位：人）

区分	心理	言語	理学	作業	計
訓練指導別登録者数	498	573	151	382	1,604
延べ訓練指導実施者数	437	1,535	705	847	3,524

P・T（理学療法）スイミング事業実績(学齢以上)

登録者数 32人 延べ訓練指導実施者数 100人
 [おもちゃ図書館管理運営費] 1,196,214円
 延べ利用者数 6,506人

(福祉総務課)

目的	各種手当の支給				
指標	受給者数等	目標	23,585人	実績	22,857人 (19年度23,167人)
説明	児童の健全育成や児童の福祉の増進を図ることを目的に、各種手当を支給することにより経済的な支援を行いました。児童手当の3歳児未満の支給額は、平成19年4月から一律月額10,000円になり、受給者数は95人の減となりました。 また、厳しい経済情勢に対する緊急措置として2人以上の子がいる世帯の幼児教育期の子育て負担に配慮した「子育て応援特別手当」を支給することとし、平成20年度においては必要なシステム改修をはじめとする支給準備を行いました。				

(受給者数等は年度末)

[児童手当の支給] 2,507,650,000円
 受給者数 20,355人

区分	受給者数	対象児童数	支給額	特定財源
・被用者	5,299人	5,798人	682,490,000円	(国庫支出金 546,228,000円 県支出金 68,298,500円)
・非被用者	1,550人	1,694人	204,615,000円	(国庫支出金 68,226,667円 県支出金 68,015,000円)
・特例給付	283人	301人	37,140,000円	(国庫支出金 37,060,000円)
・小学校修了前被用者	9,824人	18,668人	1,180,445,000円	(国庫支出金 393,523,333円 県支出金 393,483,333円)
・小学校修了前非被用者	3,399人	6,128人	402,960,000円	(国庫支出金 134,156,666円 県支出金 134,156,666円)

[児童扶養手当の支給] 1,000,998,445円 (国庫支出金 332,930,000円)
 受給資格者数 2,177人

[重症心身障害児手当の支給] 7,802,000円
 受給者数 325人

[子育て応援特別手当の支給事務費] 675,000円 (国庫支出金 675,000円)

[一般経費] 3,887,358円

目2 保育所費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
352,148,000円	332,381,048円	94.4%	0円	19,766,952円

目的	市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供				
指標	公立保育園入園児童数	目標	2,260人(定員) (19年度2,450人)	実績	2,165人 (19年度2,427人)
説明	低年齢の児童が増加する中、保護者が働いていたり、病気などで家庭での保育ができない乳幼児について、保護者が安心して保育園に子どもを預けられるよう努めました。 公立保育園の園舎等施設の整備・改修及び適正な維持管理を行い、保育環境の向上と安全の確保に努めました。				

〔非常勤職員報酬〕	13,334,290円		
・嘱託医師 25人	6,913,130円		
・嘱託歯科医師 25人	6,421,160円		
〔保育所一般事業費〕	3,438,630円	(その他特財	1,648,500円)
〔親と子どもの豊かな育ち事業費〕	471,133円		
〔保育所整備事業費〕	27,989,486円		
・保育所整備事業費	18,783,975円	(県支出金	427,000円)
・保育所仮設園舎整備費	3,412,500円		
・保育所備品整備費	5,793,011円	(県支出金	1,216,000円)
〔保育所管理運営費〕	285,956,484円		
・保育所管理運営費	282,344,162円	(県支出金	150,000円)
		その他特財	154,934,615円)
・保育所地域交流事業費	3,612,322円		
〔負担金〕	1,191,025円	(その他特財	535,920円)
・日本スポーツ振興センター共済掛金等			

公立保育園入所状況

(単位：人)

保育園名	定員	延べ入所児童数	延べ入所児童の年齢別内訳			月平均入所児童数	児童入所率(%)
			3歳児未	3歳児	4歳児以上		
橋北	120	1,335	295	246	794	111.3	92.71
富洲原	120	1,436	440	291	705	119.7	99.72
塩浜西	60(40)	518	87	118	313	43.2	107.92
四郷	120	1,178	239	205	734	98.2	81.81
羽津	120	1,464	327	245	892	122.0	101.67
あがた	90	1,026	123	244	659	85.5	95.00
大矢知	110	1,075	291	214	570	89.6	81.44
中央	120	1,244	334	249	661	103.7	86.39
ときわ	150	1,780	453	405	922	148.3	98.89
富田	80	809	196	203	410	67.4	84.27
海蔵	110	1,442	430	290	722	120.2	109.24
下野	60	556	190	156	210	46.3	77.22
内部	130	1,488	285	348	855	124.0	95.38
磯津	40	389	73	88	228	32.4	81.04
坂部	60	701	169	133	399	58.4	97.36
保々	100	1,285	275	340	670	107.1	107.08
笹川	100	948	173	188	587	79.0	79.00
神前	80	937	242	164	531	78.1	97.60
日永中央	110	1,359	334	313	712	113.3	102.95
笹川西	100	980	280	232	468	81.7	81.67
桜台	90	1,080	231	286	563	90.0	100.00
下野中央	70	833	178	211	444	69.4	99.17
八郷西	60	577	152	136	289	48.1	80.14
くす南	90	1,048	255	194	599	87.3	97.04
くす北	60	488	259	221	8	40.7	67.78

市内 公立計	2,350 (2,330)	25,976	6,311	5,720	13,945	2,164.7	92.90
広域 4市3町	9園	65	27	9	29	5.4	
公立計		26,041	6,338	5,729	13,974	2,170.1	

(参) 公私立保育園総合計

(単位：人)

年度	延べ入所 児童数	延べ入所児童の年齢別内訳			月平均入 所児童数
		3歳児未満	3歳児	4歳児以上	
19年度	55,962	15,801	12,327	27,834	4,663
20年度	55,501	16,182	12,193	27,126	4,625

公立保育園延長保育年間利用実績(月別1日当たり平均利用児童数)

(単位：人)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
中央	7	6	6	6	7	9	9	8	9	9	5	7	7.3

公立保育園一時保育年間利用実績(月別延べ利用児童数)

(単位：人)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
くす南	5	8	21	11	2	7	3	6	7	7	3	3	83
橋北	36	49	22	30	35	37	47	59	68	61	63	84	591
合計	41	57	43	41	37	44	50	65	75	68	66	87	674

公立保育園特定保育年間利用実績(月別利用児童数)

(単位：人)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
くす南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
橋北	1	2	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	40
合計	1	2	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	40

目3 民間児童福祉施設運営費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,489,845,000円	2,469,974,981円	99.2%	0円	19,870,019円

目的	市民ニーズを踏まえた保育サービスの提供				
指標	民間保育所入園児童数	目標	2,190人(定員) (19年度 2,070人)	実績	2,298人 (19年度 2,076人)
説明	民間保育所の適正な運営がなされるよう指導及び助言を行うとともに、民間保育所の保育内容充実のための各種補助施策を実施しました。なお、市民の多様な保育ニーズに応えるため、乳児保育(2カ所)、延長保育(2カ所)、一時保育(2カ所)をそれぞれ拡充しました。				

[保育所事務費事業費]

・ 児童一般分

2,114,628,877円

1,975,681,969円

国庫支出金
県支出金
その他特財

531,423,969円
265,711,984円
603,379,175円

・ 民間施設加算

138,946,908円

(県支出金 10,270,000円)

民間保育所入所状況

(単位：人)

保育園名	定員	延べ入所 児童数	延べ入所児童の年齢別内訳			月平均入 所児童数	児童入所率 (%)
			3歳児未満	3歳児	4歳児以上		
日永	90	1,296	304	306	686	108.0	120.00
厚生会	60	731	220	184	327	60.9	101.53
浜田	90	992	286	252	454	82.7	91.85
ローズ	100	1,367	400	283	684	113.9	113.92
海山道	120	1,517	446	412	659	126.4	105.35
塩浜	60	543	219	89	235	45.3	75.42
愛華	90	1,277	400	245	632	106.4	118.24
三重愛育	150	1,986	611	420	955	165.5	110.33
あやめ	60	318	38	72	208	26.5	44.17
みのり	90	1,161	488	193	480	96.8	107.50
かわしま	120	1,405	310	338	757	117.1	97.57
大谷台	110	1,298	355	301	642	108.2	98.33
フジ	110	1,422	496	267	659	118.5	107.73
いずみ	100	1,441	480	290	671	120.1	120.08
あがたが丘	90	1,147	331	241	575	95.6	106.20
ひよこ	90	1,157	467	247	443	96.4	107.13
陽光台	75	1,028	267	344	417	85.7	114.22
たいすい	120	1,666	715	323	628	138.8	115.69
こっこ	90	1,035	413	262	360	86.3	95.83
西浦	60	750	739	11	0	62.5	104.17
河原田	90	1,086	350	223	513	90.5	100.56
水沢	60	916	214	251	451	76.3	127.22
たいすい中央	45	573	338	152	83	47.8	106.11
高花平	60	715	161	168	386	59.6	99.31
三重	60	748	235	223	290	62.3	103.89
市内民間計	2,190	27,575	9,283	6,097	12,195	2,297.9	104.93
くまだ		264	60	36	168	22.0	
岸田		962	233	192	537	80.2	
広域6市2町	34園	659	268	139	252	54.9	
市外民間計		1,885	561	367	957	157.1	
民間計		29,460	9,844	6,464	13,152	2,455.0	

〔民間保育所振興費〕

257,392,164円

- ・民間保育所運営費補助金 37,528,600円
- ・民間保育所園児健康診断料等補助金 10,959,930円
- ・障害児保育事業費補助金 2,226,280円
- ・民間保育所乳児保育促進事業費補助金 20,680,000円
- ・延長保育事業費補助金 133,855,632円

〔国庫支出金 72,404,000円
県支出金 1,226,000円〕

民間保育所延長保育年間利用実績(月別1日当たり平均利用児童数)

(単位：人)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ローズ	24	27	27	29	19	26	27	30	26	22	30	26	26.1
海山道	3	6	6	6	5	6	6	6	6	7	7	6	5.8
塩浜	2	4	3	3	3	3	3	2	4	3	2	3	2.9
愛華	22	22	20	19	15	21	20	18	19	21	21	20	19.8

三重愛育	8	7	8	8	6	8	8	8	8	7	8	8	7.7
みのり	10	10	8	9	8	10	10	10	9	8	10	10	9.3
かわしま	4	3	2	3	3	3	5	3	4	3	3	3	3.3
大谷台	3	4	4	4	3	4	4	4	3	4	4	4	3.8
フジ	18	22	22	22	22	21	20	20	21	20	20	20	20.7
いずみ	11	11	13	11	10	10	10	11	8	9	9	9	10.2
あがたが丘	6	8	9	10	8	8	7	8	6	7	8	7	7.7
ひよこ	20	22	23	23	21	24	23	23	24	24	24	24	22.9
陽光台	6	5	7	8	5	8	7	8	7	7	5	4	6.4
たいすい	14	15	17	22	21	19	19	25	21	19	19	22	19.4
こっこ	11	11	11	10	11	10	11	11	10	10	11	11	10.7
西浦	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0
河原田	6	5	6	6	5	5	6	7	7	5	5	5	5.7
水沢	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1.2
たいすい中央	1	3	3	3	4	4	4	3	3	3	4	3	3.2
高花平	3	3	3	3	4	5	3	4	3	3	3	3	3.3
三重	3	5	7	6	5	4	4	4	4	6	5	6	4.9
合計	179	197	203	209	182	203	201	210	198	192	202	198	197.8

・一時保育事業費補助金 14,749,200円 (県支出金 5,963,000円)

民間保育所一時保育年間利用実績(月別延べ利用児童数)

(単位:人)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
愛華	67	54	76	80	52	80	86	64	62	62	72	101	856
いずみ	57	29	54	60	40	65	64	46	54	33	62	48	612
ひよこ	33	27	40	61	25	43	59	68	62	61	60	69	608
かわしま	39	31	34	53	39	54	60	53	46	55	59	43	566
たいすい	1	15	8	17	2	0	7	7	7	15	7	6	92
みのり	46	50	78	78	44	56	62	54	57	46	53	62	686
海山道	22	30	34	25	10	13	36	25	30	41	31	18	315
こっこ	33	23	45	57	38	74	106	102	104	97	99	99	877
西浦	22	35	44	28	28	33	27	26	25	41	37	21	367
河原田	2	18	3	8	3	6	12	7	6	13	12	13	103
水沢	1	12	12	18	16	31	19	16	10	27	27	20	209
合計	323	324	428	485	297	455	538	468	463	491	519	500	5,291

・民間保育所特定保育事業費

19,278,000円

(県支出金 2,340,000円
その他特財 3,185,100円)

民間保育所特定保育年間利用実績(月別利用児童数)

(単位:人)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
愛華	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	58
いずみ	0	0	0	0	0	2	2	3	3	4	4	4	22
ひよこ	2	2	2	3	3	3	3	2	2	2	3	3	30
浜田	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	12
たいすい	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	8
こっこ	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	26
西浦	0	0	0	2	1	1	1	1	0	0	1	1	8
合計	8	8	9	14	12	14	16	16	15	16	18	18	164

・休日保育事業費補助金	6,461,657 円	(県支出金 669,000 円 その他特財 489,000 円)
民間保育所休日保育年間利用実績 (月別延べ利用児童数)		(単位 : 人)

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
西浦	8	33	18	16	24	30	27	47	35	20	29	31	318

・家庭支援推進保育事業費補助金	2,442,000 円	(県支出金 1,178,000 円)
・民間保育所地域活動事業費補助金	4,784,815 円	(国庫支出金 2,386,000 円)
・子育て支援推進保育事業費補助金	4,098,500 円	(県支出金 1,679,000 円)
・認可外保育施設職員健康診断料補助金	327,550 円	(県支出金 210,000 円)

目的	子育て家庭への支援サービスの提供				
指標	民間子育て支援センター 指定施設数	目標	6 施設	実績	7 施設 (19 年度 7 施設)
説明	子育て家庭の支援活動の企画、調整、実施を担当する職員を配置する民間保育所や医療機関に対して助成することにより、育児等の相談や指導など、地域の子育て家庭に対する育児支援を行いました。また、緊急保護が必要な母子については母子生活支援施設において、児童については乳児院・児童養護施設において短期入所事業を実施しました。				

[地域子育て支援拠点事業費補助金]	29,152,000 円	(県支出金 19,434,000 円)
[子育て支援ショートステイ事業費]	811,600 円	(国庫支出金 250,000 円 その他特財 5,350 円)
・エスペランス四日市	21 人	
・菜の花苑	7 人	

目的	経済的安定と自立を図るための支援				
指標	母子生活支援施設入所世帯数	目標	延べ 350 世帯	実績	延べ 177 世帯 (19 年度延べ 202 世帯)
説明	保護を要する母子の母子生活支援施設入所等により、児童の心身の健全な発達や母子の自立を図りました。 また、配偶者による暴力を受けていたり、経済的基盤が弱い母子家庭には、母子生活支援施設の活用、さらに母子家庭や寡婦については、母子自立支援員及び母子福祉協力員による相談や就労に必要な環境づくりを行い、安定した生活が確保できるよう努めました。				

[母子生活支援施設事務費事業費]	38,481,630 円	(国庫支出金 19,114,627 円 県支出金 9,568,313 円 その他特財 146,300 円)
・菜の花苑他	7 施設 延べ 177 世帯利用	
[第二種助産施設事務費事業費]	1,519,580 円	
・県立総合医療センター	5 人	

目的	家庭での生活が困難な児童 (乳児を含む) のあずかりと安心した生活の確保				
指標	運営協議会開催回数	目標	3 回	実績	3 回 (19 年度 3 回)
説明	平成 15 年 4 月に民営化した児童養護施設・乳児院「エスペランス四日市」について、子どもの処遇向上を促進するとともに、円滑な運営を確保するため、施設等整備費及び職員配置等に対する財政面での支援をはじめ、運営協議会への参加など必要な支援を行いました。今後も、引き続き円滑な運営のための支援を行います。				

[民間児童養護施設等支援事業費]	27,989,130 円
・エスペランス四日市 (定員 児童養護施設 55 人、乳児院 25 人)	

目 4 児童館費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
9,718,000 円	9,407,656 円	96.8%	0 円	310,344 円

目的	児童館活動などを通じた遊びの充実				
指標	児童館利用者数	目標	延べ 44,000 人	実績	延べ 45,264 人 (19 年度 46,917 人)
説明	<p>児童の健全育成の場として「あそび」を通じた児童の自主的、創造的活動の援助、指導や社会性を養うためのグループ活動の推進を図るとともに、映画会の開催や図書整備など優良児童文化の提供に努めました。</p> <p>児童館を活用し、年長児童（小学校高学年、中高生）が乳幼児と出会い、ふれあい交流することで、乳幼児の発達、生命や性について学び、子育て体験を提供せるなどの児童健全育成事業を行いました。また、各館ごとの児童館まつりの開催など、地域との交流にも努めました。</p>				

〔施設管理運営費〕	7,649,995 円	（その他特財 15,000 円）
〔児童館自主事業費〕	855,663 円	
〔児童環境づくり基盤整備事業〕	901,998 円	（国庫支出金 600,000 円）

児童館の利用状況

施設名	開館日数(日)	利用者数(人)	1日平均利用者数(人)
北部児童館	251	13,270	53
橋北児童館	251	9,988	40
塩浜児童館	249	7,549	30
こどもの家	251	14,457	58
計	-	45,264	181

移動児童館事業

実施回数(回)	実施地区数(箇所)	参加者数(人)	1回平均参加者数(人)	事前講習(回)
21	16	1,768	84	2

目 5 知的障害児通園施設費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
16,254,000 円	13,837,800 円	85.1%	0 円	2,416,200 円

目的	障害のある乳幼児の早期療育				
指標	発達指数が伸びた児童の比率	目標	33%	実績	37% (H19 年 33%)
説明	<p>あけぼの学園通園部（定員 50 人）は児童福祉法に基づく施設で、就学前の発達に遅れのある児童や障害のある児童に対して、保育園・幼稚園生活の前段階の療育（保育）を行いました。基本的な生活習慣を身に付けたり、社会性を育てることなどをねらいにして、児童が少しでも自立できるように取り組み、また、保護者に対しても相談・援助に努めました。平成 20 年度は子どもの発達状態に合わせた指導等の効果が上がり、個々の子どもの持っている力（発達する力）を前年度よりも引き出すことができました。生活経験の場が広がり、社会性の発達が促され、知的面の発達につながりました。</p>				

〔非常勤職員報酬〕	432,000 円
-----------	-----------

- ・ 嘱託医師 2 人

〔あけぼの学園（通園部）管理運営費〕 13,135,400円 （その他特財 13,091,790円）
 〔一般事業費〕 270,400円

入園状況 (単位：人)

性別	本年度末 在園児数	年齢別内訳				
		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
男	34	1	7	24	0	2
女	19	1	5	8	4	1
計	53	2	12	32	4	3

目6 児童福祉施設費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
8,156,000円	7,250,023円	88.9%	0円	905,977円

目的	発達の遅れが心配な乳幼児の早期療育				
指標	デイサービスの利用率 (出席率)	目標	72%	実績	70% (19年度71%)
説明	あけぼの学園療育部(定員1日20人)は障害者自立支援法に基づく児童デイサービス事業所として、ことば・身体運動面・生活面など、発達の遅れが心配な乳幼児を対象とした療育を行いました。親子で通っていただき、子どもに対しては、基本的な生活習慣を身に付けたり、社会性を育てることなどをねらいにして、また、保護者に対しては子どもの理解や遊びを通して子どもとのかかわり方を学んでもらうなど、相談・援助に努めました。乳幼児本人の病気や家族の諸事情で欠席する日もあり、出席率は昨年と同程度でした。今後も子どもの発達特性に応じた療育を行います。				

〔非常勤職員報酬〕 216,000円

・嘱託医師 1人

〔あけぼの学園（療育部）管理運営費〕 7,034,023円 （その他特財 7,034,023円）

入園状況 (単位：人)

性別	本年度末 在園児数	年齢別内訳					
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
男	65	3	18	29	9	4	2
女	39	1	9	14	10	5	0
計	104	4	27	43	19	9	2

項3 生活保護費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
5,244,527,000円	5,216,770,012円	99.5%	0円	27,756,988円

目1 生活保護総務費

予算現額	支出済額	予算現額に 対する割合	翌年度繰越額	不用額
168,224,000円	167,362,882円	99.5%	0円	861,118円

〔一般職給〕 23人 149,036,756円

〔非常勤職員報酬〕 1,665,600円

・嘱託医師 1人

〔セーフティネット支援対策等事業〕	6,751,291 円	(国庫支出金 6,751,000 円)
・臨時職員 4 人	5,233,433 円	
〔その他経費〕	9,909,235 円	
・診療報酬支払事務委託料	3,251,208 円	
・一般経費	6,658,027 円	

目 2 扶助費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額	
5,076,303,000 円	5,049,407,130 円	99.5%	0 円	26,895,870 円	
目的	適正な保護を実施できる				
指標	生活保護開始件数 自立支援助言件数	目標	320 件 930 件	実績	437 件 (19 年度 306 件) 1,256 件 (19 年度 929 件)
説明	<p>生活に困窮する市民に対し健康で文化的な最低限度の生活を保障するセーフティネット機能として適正な保護を実施するため、平成 20 年度は生活問題を抱える市民から 1,693 件の相談を受け、生活状況を的確に把握した結果、437 件に生活保護を開始しました。保護の適用に至らないケースについても他の制度を紹介したり、生活改善に向けた助言を行いました。世界同時不況の影響を受けて、開始件数、助言件数とも当初の目標を大きく上回っています。</p> <p>平成 20 年度の生活保護状況は、保護率 9.8% (平成 19 年度 9.2%)、保護人数 3,072 人 (平成 19 年度 2,867 人) と大幅に増加しました。保護の相談件数は、失業等による一時の急激な増加傾向は脱したものの、依然として高い状態が継続しており、今後も被保護者の増加が予想されます。また、平成 20 年度より中国残留邦人支援給付を新たに開始しました。</p>				

〔扶助費〕 延べ 93,757 人 5,049,407,130 円 (国庫支出金 3,748,091,000 円)
(県支出金 215,356,152 円)

生活保護費支給内訳

区 分	延べ人数(人)	1 ヶ月平均(人)	支 出 額(円)	割合(%)
生活扶助	29,882	2,490	1,485,587,648	29.42
住宅扶助	26,456	2,205	523,889,790	10.38
教育扶助	3,322	277	22,188,170	0.44
介護扶助	4,224	352	105,720,080	2.09
医療扶助	28,391	2,366	2,812,559,126	55.70
出産扶助	10	-	1,538,900	0.03
生業扶助	855	71	11,707,375	0.23
葬祭扶助	54	-	4,673,913	0.09
施設事務費	529	44	76,104,957	1.51
中国残留邦人支援給付費	34	-	5,437,171	0.11
合 計	93,757		5,049,407,130	100.00

項 4 災害救助費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,469,000 円	1,734,592 円	70.3%	0 円	734,408 円

目 1 災害救助費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,110,000 円	1,734,592 円	82.2%	0 円	375,408 円

〔災害への支援〕

- ・災害見舞金等 死亡5件、全焼等被害7件、半焼被害1件
1,110,000円（その他特財1,110,000円）
- ・災害救助基金積立金 624,592円（その他特財624,592円）
（昭和39年4月設置 平成20年度末現在高 111,497,761円）

目2 災害救助基金積立準備費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
359,000円	0円	0.0%	0円	359,000円

項5 国民健康保険費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,053,641,000円	2,053,641,000円	100.0%	0円	0円

目1 国民健康保険費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,053,641,000円	2,053,641,000円	100.0%	0円	0円

国民健康保険特別会計に対し保険基盤安定制度、財政安定化支援事業、事務費及び出産育児一時金補助金の一般財源化に基づく繰出金1,365,779,351円を含む2,053,641,000円の繰出を行いました。

- ・保険基盤安定繰出金 867,903,067円（国庫支出金 64,102,581円）
（県支出金 586,824,718円）
- ・職員給与費等繰出金 324,328,284円
- ・出産育児一時金等繰出金 92,740,000円
- ・財政安定化支援事業繰出金 80,808,000円
- ・その他一般会計繰出金 687,861,649円

項6 介護保険費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,298,404,000円	2,298,404,000円	100.0%	0円	0円

目1 介護保険費

予算現額	支出済額	予算現額に対する割合	翌年度繰越額	不用額
2,298,404,000円	2,298,404,000円	100.0%	0円	0円

介護保険給付費及び事務費について、介護保険特別会計へ繰出を行いました。